

一般質問 市政に望む



今回の定例会では、12月5日、6日、7日、10日の4日間にわたり、27名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案をまじえながら、市長などの考えをたしました。
質問、答弁の要旨は次のとおりです。

市内事業者への支援施策は

おく栄一(公明党)
市融資制度の見直しはいつ行われるのか。
町田副市長 追加融資は事務手続きがより複雑になるため、現在、一制度一融資という原則は堅持した上で、借りがえをしていくような方法について、二〇〇八年度実施に向け金融機関と調整を図っているところだ。
町田副市長 駐車場の設置及び使用者に対するいろいろなPR活動、両面あわせて取り組んでいきたい。



町田駅周辺の放置自転車

スクールバスを

伊藤泰(民主党・社民ネット)
小中一貫教育校の研究が進められている大戸小・武蔵岡中だが、学校の所在地からして一貫教育だけでは小規模校化解消の特効薬にはなりにくいと考える。そこで、堺地区内を循環するスクールバスを走らせ小中一貫校の特色の一つにしてみてもどうか。
学校教育部長 現在、小中一貫校を念頭に置きながら活動を行っています。年度によ

市民討議会について

若林章喜(まちなだ新世紀)
新たな取り組みである市民討議会の評価を問う。
市長 二日間にわたり熱心に討議をしていただき、実りあるものになったのではないかと思います。
町田副市長 ターミナルプ

乳幼児医療費の所得制限撤廃を

佐藤洋子(日本共産党)
子どもを安心して産み育てる条件をつくるためには無料の妊婦健診回数をふやし、就学前までの乳幼児医療費助成制度の所得制限撤廃を一日も早く行うべきだがどうか。
保健介護推進担当部長 妊婦健診の回数を拡大する方向で考えています。
子ども生活部長 就学前までの乳幼児医療費助成制度の無料化も、子ども行政全体の

妊婦無料健診の回数拡大を

あさみ美子(公明党)
妊婦無料健診、現在二回を五回以上に拡大を。
市長 公費負担の回数増は必要と考えています。
町田副市長 現在、予定路線沿線の皆さんと神奈川中央交通との間で、バス停の位置などの調整を進めているところです。
都市計画部長 バス会社としても利便性の向上を図るという観点から乗り継ぎシステムを研究中であると回答を得ています。

差額ベッド代廃止！市民病院

市川勝斗(まちなだ新世紀)
新棟開院後、病床利用率を上げ、差額ベッド代の廃止を求めるがどうか。
市民病院事務局長 地域医療連携を一層充実させ、入院が必要な紹介患者さんの数をふやすことが必要です。差額ベッドは基本的には個室を基準としたものに改めていきたい。
周産期センター開設に向けた準備状況について。
市民病院総院長 看護師に

基本健診事業の存続を求める

細野龍子(日本共産党)
「特定健診」への移行に伴い、一八歳以上の市民が無料で受けられる「基本健診」の理念を存続すべき。
保健介護推進担当部長 対象者等の詳細についても、従来の内容を維持できるよう検討中です。
町田副市長 北口広場の計画には、住民や利用者の声を反映させるべきだが、どうか。
建設部長 今後、地元住民



南町田駅北口